

◆ 生きがいの創出

- ・各ライフステージの学びの姿と場を示す「おまえざき学びの航海図」と「学びのパスポート」を活用し、各機関・団体などが協力して学びの機会を広く提供します。市民が主体的かつ継続的に学ぶ機会を創出します。
- ・市民の健康に供する場や文化を育む場である市民プールや図書館、市民会館を改修して長寿命化します。

④ 「市民の利便性向上」 行政デジタル化の加速

マイナンバーカードの普及などデジタル時代に対応し、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画の実現に向けて、行政手続きの利便性向上や行政のデジタル化を推進します。

◆ マイナンバーカード活用の推進

- ・マイナンバーカードで応募できる電子申請サービス利用促進キャンペーンの実施や交付申請における出張サポートを実施し、マイナンバーカードの普及と市民の利便性の向上を目指します。
- ・戸籍情報や税情報を自治体間で連携することで、事務手続きの省略を可能にし、行政手続きを簡略化します。

◆ デジタル時代への対応

- ・市税、手数料などのキャッシュレス決済や行政手続きのオンライン化に加え、DXを強く推進するため、情報統括責任者を補佐する人材を配置し、行政デジタル化を加速させます。

⑤ 「ゼロカーボンに向けて」 環境にやさしい社会の実現

ゼロカーボンシティの実現に向けて豊かな自然を守り、次世代へつなぐ環境づくりを推進します。

◆ 環境教育の推進

- ・エコアクション21認定の更新、ゼロカーボンに向けた職員研修会や小学生を対象とした出前講座を実施することで、環境にやさしい社会の実現を目指します。
- ・ごみの分別に焦点を当てた出前講座の実施や雑紙のリサイクルを推進し、ごみを削減します。

◆ 脱炭素化の推進

- ・新エネルギー・省エネルギー機器の導入に対する助成を事業所でも活用できるように枠組みを拡充し、地域的な脱炭素化を推進します。

会計	予算額	前年度比
一般会計	158億 6,000万円	4億 5,000万円
特別会計合計	70億 7,906万円	1,597万円
企業会計合計	93億 6,682万円	▲ 4億 2,014万円
財産区特別会計合計	1億 425万円	2,379万円
全会計合計	324億 1,013万円	3,768万円

全会計合計は、前年度比3,768万円増額となりました。

一般会計の増額は、市内に進出する事業者に対する助成や小学校の水道施設の改修などの実施によるものです。

企業会計が減額した理由は、病院事業の入院や外来に係る経費の減額、施設の更新工事が完了したことが主要因です。